



THE 進路 NEWS。

進路ガイダンス～学部・学科の説明会～（10月27日）

1・2年生を対象に実施しました。生徒達は、20講座の中から興味・関心のある2講座を受講し、学部・学科の内容や就職に向けての心構えを学びました。この進路ガイダンスを通して進路意識を高め進路目標や学習目標の設定の機会になりました。今回はオンライン・対面の併用実施でしたが、皆熱心に聞いていました。

【講座一覧】

	説明分野	講師
1	経済・経営・商学 ※オンライン実施	大阪商業大学
2	教育学 ※オンライン実施	広島文化学園大学
3	看護学 ※オンライン実施	広島文化学園大学
4	理学療法学・作業療法学 ※オンライン実施	川崎医療福祉大学
5	工学(情報工学・電気通信工学)※オンライン実施	福山大学
6	農学	島根県立農林大学校
7	体育・スポーツ学 ※オンライン実施	広島文化学園大学
8	外国語学 ※オンライン実施	鳥取短期大学
9	建築・インテリア ※オンライン実施	穴吹デザイン専門学校
10	コンピュータ・ゲーム ※オンライン実施	神戸電子専門学校
11	イラスト・アニメ ※オンライン実施	神戸電子専門学校
12	美容・メイク・ネイル ※オンライン実施	小井手ファッションビューティ専門学校
13	ファッション・ブライダル ※オンライン実施	小井手ファッションビューティ専門学校
14	保育・幼児教育	トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校 トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校
15	公務員	専門学校松江総合ビジネスカレッジ
16	調理・製菓 ※オンライン実施	広島酔心調理製菓専門学校
17	動物	専門学校松江総合ビジネスカレッジ
18	臨床工学	出雲医療看護専門学校
19	自衛隊	自衛隊
20	【島根大学総合説明会】 ※オンライン実施	島根大学

進路セミナー ～保護者対象の進路研修会～（11月7日）

1・2年生の保護者を対象に進路セミナーを開催しました。8名の保護者に参加していただき、1年生の文理選択や2年生の科目選択について、また、新入試（大学入学共通テスト等）について説明しました。セミナー後の感想では、「昔のように理系を選択すると文系にもいけるというわけではないことがわかった。」や「受験する大学、学部、進路について話し合っていないといけないと思いました。」などのお声をいただきました。

今年度の進路セミナーは、新型コロナウイルス感染症予防対策のため今回限りでしたが、今後もこのような機会を設け、学校と保護者の連携を高めていけたらと考えておりますので、是非ご参加ください。

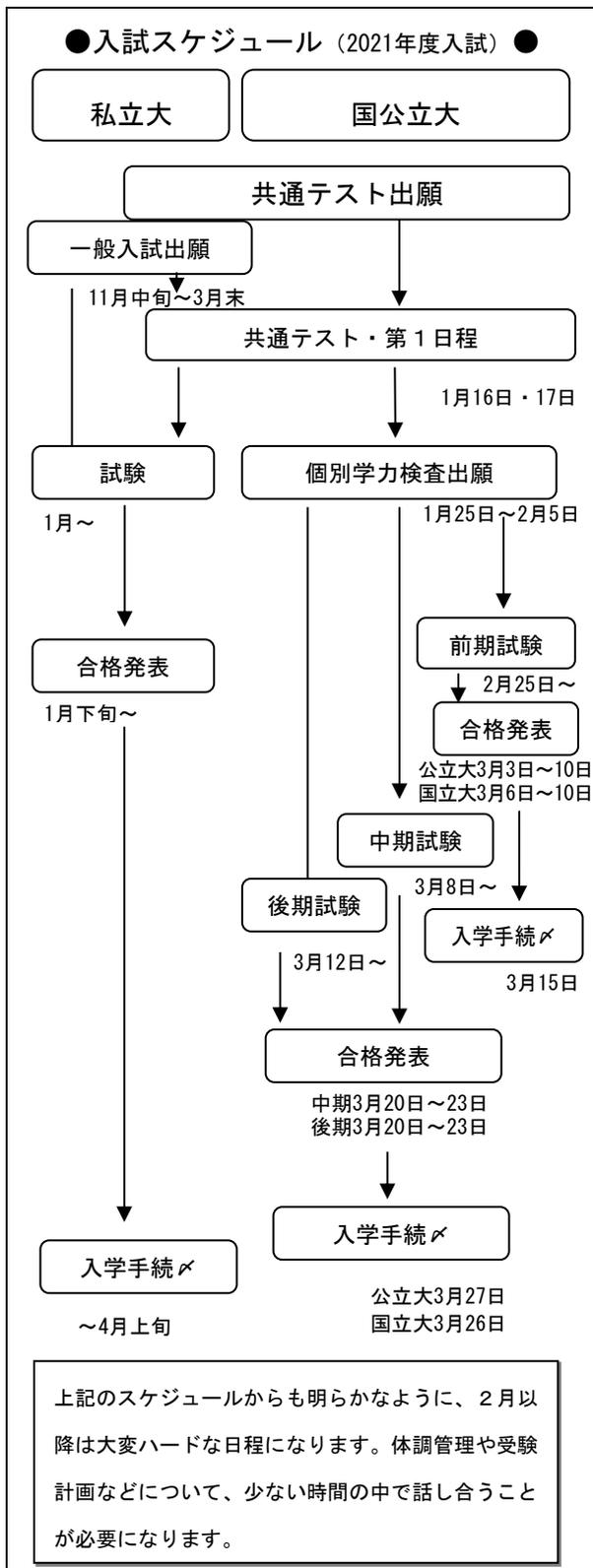


進路講演会 ～将来を見据えて進路を考える～（12月8日）

1，2年生を対象に進路講演会を実施しました。今年度は、株式会社さんぼう専任講師の中山和佳子先生を招いての講演会でした。講演会では、中山先生の経験を踏まえて話をいただき、すでに進路目標が決まっている生徒にとっても、まだ進路目標が決まっていない生徒にとっても分かりやすくキャリア育成について学びました。特に学習へのモチベーションアップの方法と学習計画の立て方と実行方法についての話をされ、生徒は自分のことを見つめ直す良い機会となりました。最後に、講演会で言われた印象的な言葉3つを紹介します。

1. やる気を起こすためには目標が必要
2. 「5分やってみよう」から始めよう。行動を起こすことが大事
3. 「だめだ」と言ったらだめになる。人は自分が発した言葉のようになる

3年生の今後の入試スケジュールについて



（ベネッセハイスクールオンラインより）

国公立大個別学力検査について

～最後まであきらめないことが合格につながる～

一般入試の場合、国際教養大など一部の大学を除くと「前期日程」「後期日程」「中期日程」の組み合わせで最大3校の受験が可能です。しかし、前期日程で合格し、入学手続きを取ると、他の中・後期日程を受験していても合格対象にはならないため、第1志望校は前期日程で受験することが一般的です。

後期日程については、定員が少なく志願倍率が高くなる傾向にあります。実際は前期日程合格者が受験しないことも多いので、合格のチャンスは決して小さくはありません。また、前期日程から後期日程の間は2週間以上もあり、弱点分野の克服なども可能です。

特に国公立大を志望している場合は、私立大合格だけで安心せずに、最後まで国公立大をめざすことが重要です。最後まであきらめないことが希望進路実現への近道なのです。

私立大入試について

～情報収集が希望進路実現のカギ～

私立大については、2月以降に出願できたり、地方入試（学外試験）や方式別入試など、様々な入試のスタイルがあります。情報収集をこまめに行うことが希望進路実現につながります。

いざというときに困らないように、私立大入試スタイルの主な例をご紹介します。

- 試験日自由選択制…同一学部・学科で、試験日を2日以上設定し、受験生の都合のよい日に受験できる制度。
- 方式別入試…同一学部・学科で、入試科目や配点などが異なる複数の選抜方法から選択して受験できる制度。
- 全学部統一入試…学部ごとの試験日のほかに、全学部の入試を同一日に一斉に行う制度。
- 地方入試（学外試験）…大学の所在地以外の地域に試験会場を設けて行われる入試。

最後に ～受験計画は親の同意が必要～

進学には経済的な負担も伴います。受験料のほかに、交通費・宿泊費などが発生しますし、合格が決まれば入学金や授業料、場合によっては下宿費用、私立大では一時金などの支払いについても考えなければなりません。そのため、「どんな大学を、何校受験するのか」といった受験計画については、親子で十分話し合い、親の同意を得ておく必要があります。

県内高卒就職求人状況～厚生労働省 島根労働局より（9月30日時点）～

1. 求人受理の状況

令和2年9月30日時点の受理求人数は2,561人で、前年同期(3,073人)より16.7ポイント減少した。

2. 就職希望者の状況

就職希望者数(学校又はハローワークの紹介により就職を希望する者)は1,199人で、このうち926人が県内での就職を希望している。

就職希望者のうち県内就職希望者の割合は77.2%で、前年同期(68.3%)より8.9ポイント上昇した。

3. 求人倍率

令和2年9月30日時点の求人倍率(受理求人数/就職希望者数)は2.14倍で、前年同期(2.24倍)より0.10ポイント低下した。

また、同時点の県内求人倍率(受理求人数/就職希望者数)は2.77倍で、前年同期(3.28倍)より0.51ポイント低下した。

4. 就職内定の状況

令和2年10月30日時点の就職内定率(内定者数/就職希望者数)は79.2%で、前年同期(74.3%)より4.9ポイント上昇した、過去最高値です。

また、同時点の県内就職内定率(県内内定者数/県内就職希望者数)は78.2%で、前年同期(73.1%)より5.1ポイント上昇した、過去最高値です。

厚生労働省 島根労働局ホームページ

<https://isite.mhlw.go.jp/shimane-roudoukvoku/home.html>

本校の就職求人状況 ～本校に頂いている求人の職種（12月12日時点）～

今年度、本校に頂いている求人票(県内)は、51事業所で299人分です。そのうち、隠岐の島町内の求人票は、24事業所で100人分です。コロナウイルス感染症拡大のため、就職難になると言われていましたが、県内外のばらつきはあるものの、前年度と同程度の求人数になりました。

隠岐の島町内でも人手不足が続いている状況です。県内の求人では、事務や販売といった職種の割合が高くなっていますが、就職を希望する人数も多いです。また、福祉・建設・警備・運輸など人材不足分野の人材確保を推進中です。

最後に ～進路指導部長からのメッセージ～

いよいよ、3年生は初めての大学入学共通テストに挑みます。今年度もありがたいことに隠岐高校会場で受験することができます。普段と違う雰囲気ですが、3年間通った場所なので、リラックスしやすいと思います。もてる力を十分に出し切ってほしいと願っています。

また、1,2年生は受験の様子を見ることはできませんが、遠い未来の話だと考えずに、2年後・1年後の自分を思い浮かべて、勉強に励んでほしいと思います。